

【家庭数】  
保護者様

平成30年10月4日

横浜市立永谷小学校  
校長 平野 好子

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査 永谷小学校の結果について

秋の気配が深まる頃となりました。皆様には日頃より、本校の教育活動にご協力くださいますこと、改めてお礼申し上げます。

さて、今年度4月に第6学年で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から届きました。

そこで、その結果を本校にて精査分析いたしましたのでお知らせします。ぜひ、お読みください。また、今後とも本校の教育活動に、ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 生活意識について（「当てはまる」と答えた児童）

生活習慣・学習習慣調査結果	永谷小学校(%)	全国 (%)
毎日同じくらいの時間に寝ていますか。	43.7	41.4
毎日同じくらいの時間に起きていますか。	64.8	59.9
朝食を毎日食べていますか。	80.3	84.8
自分には、よいところがあると思いますか。	35.2	41.2
算数の勉強は好きですか。	38.0	33.9
理科の勉強は好きですか。	46.5	52.6
5年生までに、受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	21.1	29.1
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	32.4	34.7
今、社会のことがらや自然のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか。	42.3	42.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	22.5	35.9

「毎日同じくらいの時間に寝ている・起きている」が、全国平均を上回っています。毎年、長期休業中に生活がんばり表をつけながら自分の生活を振り返ったり、ご家庭で規則正しい生活習慣を心掛けてくださったりした結果と考えられます。

また、「算数の勉強が好き」が、全国を上回っています。学習に対する意欲が高い反面、「自分にはよいところがあると思う児童の割合」が、全国平均に比べてだいぶ低く、自分に自信をもち目標に向かっていこうとする児童の育成が引き続き課題として浮き彫りになりました。今後も、社会や地域の中で、児童が様々な事象に興味・関心をもち、生き生きと活動できるよう、教職員一同努力してまいります。

## 2. 学習状況について

学習調査結果	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
永谷小学校 正答率 (%)	72	52	62	49	58
横浜市 正答率 (%)	73	56	66	54	61
全国 正答率 (%)	71	55	64	52	60

\*今年度も正答率は、文部科学省、市教委からの文書に合わせ、整数値で表しました。

国語A（知識に関する問題）は、全国平均をわずかに上回りましたが、国語B（活用に関する問題）は、全国平均より3%下回る結果でした。算数A（知識に関する問題）は全国平均より2%、算数B（活用に関する問題）は、3%下回る結果でした。今年度実施された理科は、2%下回りました。この結果の詳細を下にまとめました。

### 国語A（主に知識に関する問題）

「話す・聞く能力」については、全国平均を5%も上回っていました。「書く能力」は1%、「読む能力」は2%とわずかですが、全国平均を上回りました。「言語についての知識・理解・技能」は、全国平均とほぼ同じ値でした。

### 国語B（主に活用に関する問題）

「話し手の意図を捉えながら聞き自分の意見と比べるなどして考えをまとめる問題」や「目的に応じて複数の本や文章を選んで読む問題」では、全国平均を上回りましたが、「文章全体の構成を考える問題」では全国平均を大きく下回りました。

### 算数A（主に知識に関する問題）

「数と計算」領域の問題では、全国平均を2%上回りました。「数量や図形についての技能」は、全国平均より1%高い正答率でしたが、「小数の除法の意味の理解を問う問題」で11%下回り、「数量や図形についての知識・技能」については、2%低い正答率でした。

### 算数B（主に活用に関する問題）

「数量や図形についての知識・理解」では、全国平均を8%上回る結果でした。一方、「数学的な考え方」を問う問題の正答率は、全国平均に比べ3%下回り、「示された数量を関連付け根拠を明確に記述する問題」では、全国平均との差が大きく開きました。

### 理科

「自然事象への関心・意欲・態度」で全国平均を7%上回る正答率でした。興味関心が高い一方で、「科学的な思考・表現」や「観察・実験の能力」は3%下回っていました。「自然事象についての知識理解」も、全国平均に比べてわずかに低い正答率でした。

本校の6年生の児童の調査結果から、理科では、関心・意欲が高く、国語では、表現する能力が身につけてきている様子がうかがえます。算数では、示された数量を関連付けながら正しく解釈し、記述するなどの「数学的な考え方」が課題だということがわかりました。今後さらに、基礎・基本の学びを充実させ、知識を定着させることに力を入れ、授業づくりをしていきます。